

令和 6 年度 意見交換会（案）

令和 7 年 1 月時点

テ ー マ

「聞こえる・聞こえない みんなで考える防災」（案）

目 的

聞こえない・聞こえにくい方が救急等の緊急時でも地域で安心して暮らせるよう、地域住民、消防・救急、福祉等の関係者が、聴覚障がい当事者が緊急時に的確な支援を得られるための方法（環境）や、聴覚障がい当事者との手話を含めたコミュニケーションについての理解を深めることを目的とする。

実 施 方 法

1 日 時 令和 7 年 3 月 22 日（土） 又は 23 日（日） 13：00～16：00

2 会 場 旭川市障害者福祉センターおびつた 会議室 1

3 対 象 市民対象 50 名程度 （8～9 人×6 グループ）
聴覚障がい者と関わりのある関係機関に周知する。

4 実施内容（案）

（1）言葉を使わずに相手にどう伝える？ ～日常生活編～ <体験>

ろう者にとっての困りごとについて、いくつかお題を出して身振り手振りで相手に伝える。

例：大雪や事故で JR が止まった・遅延した、近くの ATM はどこか？

（2）ろう者にとっての困りごととは？ <講演>

- ・日常生活、災害時での困りごと
- ・災害時にどんな支援が必要か。ジェスチャーや筆談の場合、どう伝えたら理解しやすいか。
- ・「逃げる」や「地震」など、緊急時に使える手話のレクチャー

（3）言葉を使わずに相手にどう伝える？ ～災害発生時編～ <体験>

災害が起こったときや避難所で音声放送が流れたとき、どうやって相手に伝えるか実践。

①災害発生時

例：避難所へ避難するとき、道路の状況、避難場所、避難経路、持ち物

②避難所で音声放送が流れたとき

例：水や食料の配給、使用可能な設備（電気、水道、ポータブルトイレ）、充電場所

（４）質疑応答

５ 予約の有無

予約制とする（当日参加は定員に満たない場合のみ可）

タイムテーブル

13:00～13:10	挨拶
13:10～13:55	言葉を使わずに相手にどう伝える？ ～日常生活～ （45分）
13:55～14:10	休憩
14:10～14:40	ろう者からの講演、手話のレクチャー （30分）
14:45～15:45	言葉を使わずに相手にどう伝える？ ～災害発生時～ （60分）
15:45～16:00	質疑応答

そ の 他

- ・座席はグループ形式とするが、講演のときのみ、ろう者に1班と2班に移動してもらう（手話が見えないため）。
- ・各グループに1名手話通訳者を配置するが、体験のときは極力通訳を介さずに行う。

会場配置図(案)

